

会 武 錬



★左からロブ、レイ、菊村、グレン。

暖かくなり始めた5月中旬にカナダ、カルガリーにある、全日本空手道連盟錬武会公認道場「KANTOUSU U空手クラブ」を訪ねました。ここカルガリーは1988年に冬季オリンピックが行われた場所でも有名ですが、私自身は3回目の来訪です。初めて訪れた時は10月過ぎで、雪が降っていてとても寒かった記憶がありますが、今回この時期、季節は25度前後でも暖かかったです。しかし一週間前には大雪が降ったそうです。

私の友人である、レイ四段、ロブ三段、グレン四段の主宰する、KANTOUSU U空手クラブは2002年1月に創立のまだ若い道場で、ダウンタウンより北へ30ほどの場所にありました。大通りに面した場所はアジア系の店が多く見られる場所です。入口には「空手道錬武会」と日本語で大きく書かれ、同じ錬武会の人間としてとても誇りに思いました。中はとても清潔で、正面には男女それぞれの更衣室があり、「命」と書かれたのれんがあり、印象的でした。彼ら3人はそれぞれ仕事をもち、仕事を終えてからの夕方から、幼児から大人まで指導しています。幼児1子供、高学年から高校生、成人のクラスがあり、それぞれ週2回〜3回行われています。その他にカーティオ、パワークラスと呼ばれるクラスが週一回ずつ行われています。カーティオは空手の技術をエアロビクスのようにスタミナを養うクラスで、空手をこれから始めようと思う大人に人気があるようです。

この3人は毎年日本に来て、「全国防具付空手道選手権大会」に出場し、数々のタイトルを取っています。日本の防具付空手道の精神を勉強・継承し、ここカルガリーの道場でその技術を伝えています。3人は25年以上の経験を持ち、昇段審査は必ず日本で取得しに来日するほど、錬武会空手道に対し誠実な姿勢をとり続けています。そんな空手道を愛し、日本を愛している3人が救えてくる道場ゆえに生徒達はとても熱心で、日本とそんな変わらない姿勢で稽古をしていました。私は5月3日に



★道場入口。
★カナディアンロッギーのふもとでのOutdoorトレーニング。

す。パワークラスは5分間休まずに基本稽古を中心に体を責め続ける。音の稽古を思い出させるようなハードなクラスです。



稽古をした最初のグレンの室に一週間滞在し、週末には私のためにバスをチャーターして、道場生と皆でアリトニエコロンビアにある「レイイクム」という温泉旅行へ連れて行ってもらいました。水着に着替えての広い温泉、というよりはプールに入った感じでした。今年9月の「全国防具付空手道選手権大会」での再会を約束し、帰国しました。

寄稿 全日本空手道連盟錬武会評議員
菊村敏彦